

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2018.1.1 ~ 1.31)

市ヶ谷キャンパス)

30日 共同利用・共同研究拠点申請打ち合わせ

31日 来所：飯田直樹氏（大阪歴史博物館）（対応：鈴木、榎、藤原、清水）

100年史編纂委員会／100周年記念事業準備委員会

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』712号（2018年2月）

□図書受入

	和書	洋書	計
購入	66	28	94
受贈	3	0	3
合計	69	28	97

□閲覧サービス

閲覧

開館日数 17日

閲覧者数 5名

貸出図書 28冊

コピーサービス

学外 6件 490枚

学内 0件 0枚

日 誌

8日 冬季休業明け（祝日閉館）

10日 拡大事務会議・事務会議

17日 運営委員会

議題① 2018年度の専任研究員のサステイナビリティ研究センター運営委員への委嘱について

② 2018年度の客員研究員の委嘱（再任）について

③その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

23日 共同利用・共同研究拠点申請打ち合わせ

24日 研究員会議

25日 法政大学ミュージアム開設準備委員会（榎）

27日 月例研究会

梅崎修（法政大学キャリアデザイン学部教授）

「近江絹糸人権争議直後の賃金体系をめぐる労使交渉——性別の違いに焦点を当てて」（於：

大原社会問題研究所雑誌

No.715（2018年5月号）

2018年5月1日発行

定価1,000円（本体926円）、年間購読料12,000円

編集（兼）発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042（783）2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会・労働問題に関する「論文」「資料紹介」「調査報告」を募集しております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。[2017.12.20 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則として 20,000字以内（図表・スペースを含む）とします。大幅に分量を超える原稿は審査の対象としません。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1ページ目は、原稿の題目に続けて本文に入り、著者名は記載しないでください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、①投稿原稿（審査用原稿）3 部、②1,000 字程度の要旨 3 部、③表題紙 3 部を送付してください。表題紙に記載する事項は、投稿原稿の①題名、②目次、③分量（図表を除く文字カウント数（スペースを含める）、図表の数）、④著者の氏名（よみがなを併記）、⑤肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑥略歴、⑦連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

【送付先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所
『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 版の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、可能なかぎり、掲載を希望する大きさと、そのまま白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1 入れる】等と指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさと全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江 (2017) 「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号, 29-43 頁。

原伸子 (2015) 「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira (2016) “Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.